

Imaginary equation in AdS5 space time create with dimension of symmetry

Masaaki Yamaguchi

D-brane and anti-D-brane is composited with all of series universe emerged for one geometry of dimension, this gravity of power from D-brane and anti-D-brane emelite with ancestor. Seifert manifold is on the ground of blackhole in whitehole of power pond of senseivility. Six of element of quarks and universe of pieces is supersymmetry of mechanism resolved with

hyper symmetry of quarks constructed to emerge with darkmatter. This darkmatter emerged with big-ban of heircyent in circumstance of phenomena.

D-brane and anti-D-brane equations is

$$\frac{d}{dL} V(\tau) = \frac{d}{df} \int \int_M \frac{1}{(x \log x)^2} dx_m + \frac{d}{df} \int \int_M \frac{1}{(y \log y)^{\frac{1}{2}}} dy_m$$
$$C = \int \int \frac{1}{(x \log x)^2} dx_m$$

Euler constance is quantum group theorem rebuild with projective space involved with.

虚数方程式は、反重力に起因するフーリエ級数の励起を生成する。それは、人工知能を生み出す、5次元時空にも、この虚数方程式は使われる。AdS5の次元空間は、反ド・シッター時空のD-braneとanti-D-braneのcomformal場を生み出す。ホログラフィー時空は、この量子起因によるものである。2次元曲面によるブラックホールは、ガンマ線バーストによる5次元時空の構造から観測される。空間の最小単位によるプランク定数は、宇宙の大域的微分多様体から導き出される、AdS5の次元空間の準同型写像を形成している。これは、最小単位から宇宙の大きさを導いている。最大最小の方程式は、相加相乗平均を形成している。時間と空間は、宇宙が生成したときから、宇宙の始まりと終わりを既に生み出している。宇宙と異次元から、ブラックホールとホワイトホールの力がわかり、反重力を見つけられる。オイラーの定数は、この量子定数からわかる。虚数の仕組みはこの量子スピンの産物である。オイラーの定数は、この虚時空の斥力の現存である。それは、非対称性理論から導かれる。不確定性原理は、AdS5のブラックホールとホワイトホールを閉3次元多様体に統合する5次元時空から求められる。位置と運動エネルギーが、空間の最小単位であるプランク定数を宇宙全体にする微細構造定数からわかり、面積確定から、アーベル多様体を母関数に極限值として、ゼータ関数をこの母関数に不変式として、2種類ずつにまとめる4種類の宇宙を形成する8種類のサーストンの幾何化予想から導き出される。この閉3次元多様体は、ミラー対称性を軸として、6種類の次元空間を一種類の異次元宇宙と同質ともしている。複素多様体による特異点解消理論は、この原理から求められる。この特異点解消理論は、2次元曲面を3次元多様体に展開していく、時空から生成される重力の密度を反重力と等しくしていく時間空間の4次元多様体と虚時空から求められる。ヒルベルト空間は、フォン・ノイマン多様体とグラスマン多様体をこのサーストンの幾何化予想を場の理論既定値として形成される。この空間は、ミンコフスキー時空とアーベル多様体全体を表している。そして、この空間は、球対称性を複素多様体を起点として、大域的ト

ポロジから、偏微分を作用素微分として時空間をカオスからずらすと5次元多様体として成立している。これらより、3次元多様体に2次元射影空間が異次元空間として、AdS5空間を形成される。偏微分、全微分、線形微分、常微分、多重微分、部分積分、置換微分、大域的微分、単体分割、双対分割、同調、ホモロジー単体、コホモロジー単体、群論、基本群、複体、マイヤー・ビートリス完全系列、ファン・カンペンの定理、層の理論、コホモルティズム単体、CW複体、ハウスドロフ空間、線形空間、位相空間、微分幾何構造、モースの定理、カタストロフの空間、ゼータ関数系列、球対称性理論、スピン幾何、ツイスター理論、双対被覆、多重連結空間、プランク定数、フォン・ノイマン多様体、グラスマン多様体、ヒルベルト空間、一般相対性理論、反ド・シッター時空、ラムダ項、D-brane, anti-D-brane, コンフォーマル場、ホログラム空間、ストリング理論、収率による商代数、ニュートンポテンシャルエネルギー、剛体力学、統計力学、熱力学、量子スピン、半導体、超伝導、ホイーストン・ブリッチ回路、非可換確率論、Connes理論、これら、演算子代数を形成している、微分・積分作用素が、ヒルベルト空間に存在している多様体の特質を全面に押し出して、いろいろな多様体と関数そして、群論を形作っている。

$$\begin{aligned} \begin{vmatrix} D^m & dx \\ dx & \sigma^m \end{vmatrix} \begin{vmatrix} \cos \theta & -\sin \theta \\ \sin \theta & \cos \theta \end{vmatrix} \begin{vmatrix} x \\ y \end{vmatrix} &= \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}^{\frac{1}{2}} \\ \sigma^m \begin{bmatrix} \delta(x) & -1 \\ 1 & \epsilon(x) \end{bmatrix}^{\frac{1}{2}} &= \begin{pmatrix} i & 0 \\ 0 & -i \end{pmatrix} \\ (D^m, dx) \cdot (\cos \theta, \sin \theta) \times (dx, \partial^m) \cdot (\cos \theta, \sin \theta) & \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & i \end{pmatrix} \beta(x, \theta) \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \\ = \begin{pmatrix} i & 0 \\ 0 & -1 \end{pmatrix} \\ l = \sqrt{\frac{\hbar G}{c^3}}, \sigma^m \cdot \begin{pmatrix} \delta(x) & -1 \\ 1 & \epsilon(x) \end{pmatrix}^{\frac{1}{2}} = \begin{pmatrix} i & 0 \\ 0 & -i \end{pmatrix} \end{aligned}$$

String theorem also imaginary equation of pole with the fields of manifold.

$$\begin{aligned} \left(\frac{\partial}{\partial \tau} f(x, y, z) \right)^{3'} &= A^{\mu\nu} \\ \frac{d}{dt} g_{ij}(t) &= -2R_{ij} \end{aligned}$$

Rich equation is all of top formula in integrate theorem.

$$= (D^m, dx) \cdot (\cos \theta, \sin \theta) \times (dx, \partial^m) \cdot (\cos \theta, \sin \theta)$$

Dalanverle equation equals with abel manifold.